

①設置届の場合は、(使用、変更)の文字を抹消すること。
使用又は変更の場合は該当する文字を○で囲む。

様式第1(第4条関係)

特定施設設置(使用、~~変更~~)届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

大分市長 〇〇 〇〇 殿

届出者 大分市〇〇〇〇〇
株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

②特定施設を設置しようとする工場又は事業場ではなく、本社又は本店等の住所等を記入する。

第4条第1項(第13条第1項又は第2項、第14条第1項)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇〇〇 大分工場	※整理番号	③特定施設の設置される又は設置されているビル名、支店名、工場名等を記入する。
工場又は事業場の所在地	大分市〇〇〇 1丁目2番3号	※受理年月日	
特定施設の種類	5. 廃棄物焼却炉	※施設名	④③の住所を記入する。
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあっては別紙1、水質基準対象施設にあっては別紙4のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用方法	大気基準適用施設にあっては別紙2、水質基準対象施設にあっては別紙5のとおり。	※備	⑤大気基準適用施設(法施行令別表第1に掲げる号番号及び名称)、水質基準対象施設(法施行令別表第2に掲げる号番号及び名称)を記入する。種類が複数ある場合は列記する。
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあっては別紙3、水質基準対象施設にあっては別紙6のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあっては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるように変更の前後を対照させて記入する。

別紙 1

特定施設(大気基準適用施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	
特定施設号番号及び名称	5. 廃棄物焼却炉	
型式	AB-12型	
施設の設置場所	廃棄物置場	
設置年月日	年	
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
規模	原料の処理能力 (t/h)	
	変圧器の定格容量 (KVA)	
	炉の容量 (t)	
	焼却能力 (kg/h)	250
	火床面積 (m ²)	3.6
その他参考となるべき事項		

②設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときには、既に設置の工事を行っている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「工事完成予定年月日」及び「使用開始予定年月日」も同様である。

③該当する項目を記入する。

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

別紙2

特定施設(大気基準適用施設)の使用の方法

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるように変更の前後を対照させて記入する。

工場又は事業場における施設番号		No. 1	
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	午前9時～午後9時 25日/月	時～時 日/月
	季節変動	無	
原料及び燃料 (ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種類	廃プラスチック類	
	使用割合	4.0% (重量比)	
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合 (%)	3%	
	1日の使用量	1,200kg/日	
排出ガス量(m ³ /h)		最大 12,000 通常 8,000	最大
排出ガス温度(℃)		160	
排出ガス中の酸素濃度(%)		13.0	
排出ガス中のダイオキシン類の濃度(ng-TEQ/m ³)		最大 0.5 通常 0.3	
その他参考となるべき事項			

②「使用割合」は、最大値を記入し、重量比(%)又は容量比(%)の別を明らかにすること。

③「排出ガス量」、「排出ガス温度」、「排出ガス中の酸素濃度」は、集じん機等のばい煙処理施設等がある場合は、処理後の数値を記入する。なお、「排出ガス量」は、標準状態(0℃、1気圧)における量(m³/h)を記入する。

備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、

木くずその他の割合を記載する

2 排出ガス量に「標準状態」というのは、標準状態にのとする。

3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載すること。

④「排出ガス中のダイオキシン類の濃度」は、標準状態における乾きガス中の濃度であり、標準残存酸素濃度(O_n)による換算が必要な施設は、次式により換算する。

$$\text{ダイオキシン類濃度} = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \text{測定時のダイオキシン類濃度} \times O_s$$

※O_s: 測定時の排出ガス中の残存酸素濃度 (%)

別紙 3

発生ガスの処理の方法

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるように変更の前後を対照させて記入する。

工場又は事業場における施設番号	No. 2	No. 3
名称及び型式	減温塔 K-18	バグフィルター BG-200
発生ガスの処理の内容	水スプレー (120 l/h) (870℃ → 160℃)	ろ過面積 300㎡
処理の系統	減温塔 →バグフィルター →煙突 別図参照	同左
施設の設置場所	廃棄物処理棟	
設置年月日	年 月 日	
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・バグフィルター入口で活性炭を注入 (5 kg/h) ・煙突の高さ 7.5 m (φ0.8 m) 	

②発生ガスの処理の系統は全体のフローについて記入する。併せて、フロー図等を添付すること。

③設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときには、既に設置の工事をしている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「工事完成予定年月日」及び「使用開始予定年月日」も同様である。

備考 1 設置 には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始

④排ガスを大気へ排出する煙突の高さ及び径の欄に、変更届出の場合には年月日及び使用開始予定年月日を記入する。その他発生ガスの処理の方法のうち参考となる事項を記入する。

2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 4

特定施設(水質基準対象施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	○		
特定施設番号及び名称	○ ○○○○		
型 式	○○式○○		
構 造	○○○製(○○型)		
主 要 寸 法	縦○ × 横○ × 高さ○ (単位m)		
能 力	○○処理量 ○○○ kg/時		
配 置	別紙のとおり		
設 置 年 月 日	年 月 日		
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日		年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日		年 月 日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日		年 月 日
その他参考となるべき事項	○基 設置		

①ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2の当該特定施設の該当する施設番号及びその名称を記入する。

②ステンレス製、FRP製等その材質及び円筒、角形等その物理的形態を記入する。また、詳細を構造図により明らかにすること。

③時間(1日)あたり又はバッチあたりの処理能力を記入する。

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

別紙5

特定施設(水質基準対象施設)の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	○			
設置場所	別図のとおり			
操業の系統	別図のとおり			
使用時間間隔	連続(または間欠)			
1日当たりの使用時間	○時～○時 ○時間			
使用の季節的変動	無 (または有:夏場は○時～○時 ○時間)			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	○○○○ ○. ○ kg ○○○○ ○. ○ kg			
汚水又は廃液の汚染状態	通	常	最	大
	SS ○○ mg/l ダイオキシン類 ○○ pg-TEQ/l	SS ○○ mg/l ダイオキシン類 ○○ pg-TEQ/l		
汚水等の量(m ³ /日)	通	常	最	大
	○○		○○	
その他参考となるべき事項				

①配置場所図により、明らかにすること。

②「特定施設を含む操業の系統」について、操業系統図により明らかにすること。

③「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態(懸濁物質(SS)及びダイオキシン類に関する項目)」を記入する。

④当該特定施設から排出される汚水等の量で、その汚水等が処理されるかされないかにかかわらず、その全量を記入する。また、汚水等の一部あるいは全部を循環使用する場合であっても、その全量を記入する。

別紙6

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	○						
処理施設の設置場所	別図のとおり						
設置年月日	年	月	日	年 月 日			
工事着手予定年月日	○年	○月	○日	年 月 日			
工事完成予定年月日	○年	○月	○日	年 月 日			
使用開始予定年月日	○年	○月	○日	年 月 日			
種類及び型式	○○○処理施設						
構造	○○製						
主要寸法	縦○×横○×高さ○(単位m)						
能力	処理能力(水量○○○ $\text{m}^3/\text{日}$)						
処理の方式	○○○○						
処理の系統	別図のとおり						
集水及び導水の方法	排水溝及び○○配管						
使用の間隔	連続(または間欠)						
稼働時間	○時～○時 ○時間						
稼働	無(または有:夏場は○時～○時 ○時間)						
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	○○○ ○. ○ kg ○○○ ○. ○ kg						
汚水等の汚染状態及び量	項目	通常	最大	通常	最大		
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	SS (mg/l)	○○	○○	○○	○○		
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)	○○	○○	○○	○○		
量($\text{m}^3/\text{日}$)	○○	○○	○○	○○			
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 ○○ kg/日 業者委託処分						
排出水の排出方法	別図のとおり						
その他参考となるべき事項	○○○○						

①処理方式を具体的に記入する。

②処理の系統図により明らかにすること。

③「汚水等の処理施設の使用時における処理前及び処理後の当該汚水等の汚染状態の通常値及び最大の値、通常量及び最大量」を記入する。「種類・項目」欄については、懸濁物質(SS)及びダイオキシン類に関する種類・項目を記入し、それぞれの項目について、その汚染状態を記入する。

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完了予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。